

上越数学教育学セミナーのご案内

デンマークから本学へ滞在中の外国人研究員による講演会を開催します。数学教育学研究について幅広く話し合えればと思います。お気軽に参加ください。入退室自由！飲食自由！

講演者： カール・ウィンスロウ **Carl Winsløw**
 (デンマーク・コペンハーゲン大学理学部科学教育学科・教授)

日時： 2017年2月22日(水) 10:00 から

場所： 自 718 教室

題目： *Researching lesson study with the anthropological theory of the didactic*
(教授人間学理論を用いて授業研究を研究)

概要： 教師が生徒らの数学的な成長に果たす鍵となる役割をもつことから、数学教育学では現在、教師の知識や実践にますます注目が集まっています。この方向性で研究を進めている研究者にとって、授業研究は非常に興味をかきたてる現象です。その理由は、授業研究が、教師の鍵となるプロフェッショナルな行為（つまり指導）に直接的にかかわる教師の知識について、非常にはっきりとしたそして共有された形でその成長を可能にするからです。授業研究は、教師の知識が個人的な暗黙的なものであり、そして教師の教育の知識と数学の知識というものが別々に成長するもしくはしうる区別されたものであるということを前提とした教師の知識に関する標準的な学習モデルを否定します。この講演では、教師のもつ数学の知識と指導の知識についてより広いより一貫性をもったモデルを提供する教授人間学理論に基づいた研究枠組みの概要を示したいと思います。授業研究自体については、「パラ教授インフラストラクチャー」のアイデアによる授業研究の特徴付けの可能性について簡単に言及します。

言語： 英語。特に通訳はありませんが、必要に応じて。

世話人： 宮川 健（数学） Tel: 025-521-3401 e-mail: miyakawa@juen.ac.jp